



新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)が制定されました

浄土真宗では蓮如上人の時代から、自分自身の法義の受け止めをあらわすために『領解文』が用いられてきました。『領解文』には、法義の肝要が当時の一般の人々がわかるよう簡潔にまた易しい言葉で書かれています。長い間、親しまれているものの、時代とともに表現が古く感じ理解が難しく感じるようになってきました。そこで、今年迎える「親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年」を機に、現代版の『領解文』が新しく制定されました。天真寺でも、お聴聞の最後には毎回「領解文」を唱和しています。これからは新しい「領解文」にも親しみ、皆さんとご一緒にお聴聞をよろこんでいきたいと願っております。

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声

私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ

「そのまま救う」が 弥陀のよび声

ありがとう といてだいて この愚身をまかす このままで

救い取られる 自然の浄土 仏恩報謝の お念仏

これもひとえに 宗祖親鸞聖人と 法灯を伝承された

歴代宗主の 尊いお導きによるものです

み教えを依りどころに生きる者となり

少しずつ 執われの心を 離れます

生かされていることに 感謝して

むさぼり いかりに 流されず

穏やかな顔と 優しい言葉

喜びも 悲しみも 分かち合い

日々に 精一杯 つとめます



今月の行事予定

2023年 4月

日	月	火	水	木	金	土
						1 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
2 7:00日曜礼拝 ●	3	4	5	6	7	8 花まつり(お釈迦さまのお誕生日)
9 7:00日曜礼拝 ●	10	11	12	13 	14	15 13:30グランドゴルフ
16 7:00日曜礼拝 ●	17	18 【講師】山本英哲師(神奈川)	19	20 13:30法話会 ●	21	22
23 7:00日曜礼拝 ●	24	25	26	27	28	29 昭和の日
30 7:00日曜礼拝 ●						来月の予定… 5月21日(日) 永代経法要・門信徒会総会

- 4月8日はお釈迦さまのお誕生日「花まつり」です
お寺に花御堂をお飾りいたしますので、一緒にお祝いしましょう♪
- まつどでつながるプロジェクト 世代交流の場「野の花カフェ」
子どもや子育て孤立予防のための松戸市の活動です。今回はお寺を会場として提供しカフェを開催しますので、どうぞご参加ください。
【日時】2023年3月28日(火) 11:00～16:00 入場無料(一部有料あり)
- 仏事のご相談、お墓のお悩みはお寺までお気軽にどうぞ
天真寺が管理する「永代合葬墓」があります
★「やすらぎ堂」(松戸大町やすらぎパーク内) 管理費なし
★「あんのん堂」(親鸞聖人のご廟所・京都大谷本廟内) 管理費なし
★ 一時預かり「納骨堂」(天真寺2F) 年間管理費 1万2千円
すべて空きがありますので、ご希望の方はお申し込みいただけます。
- 天真寺ホームページで住職、副住職のブログを連載しています
住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/

天ちゃんの一言



入会随時募集 門信徒会

に入りませんか

お寺のお仲間になって、一緒にお参りませんか。仏法を聞き自らを見つめる時間は、人生にとって大切なものです。

毎月、寺報と仏教雑誌を送付します。どなたさまもご入会お待ちしております。

〈年会費〉
一戸：3千円

〈ゆうちょ払込先〉
天真寺門信徒会
00130-6-567186

お寺の掲示板の言葉



私を生かしておる 力というものに
帰っていく歩み それが仏道

天真寺

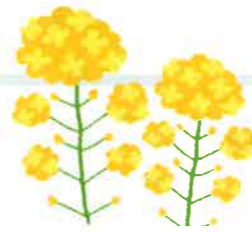
〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106番地
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809
www.tenshin.or.jp



オンライン
配信あり

春の法話会

一緒に仏さまのお話を聞きましょう



【日時】 4月20日(木) 13:30

やまもと えい てつ

【講師】 山本英哲師 (本願寺派布教使、神奈川県妙延寺)

バイオリン・雅楽楽器の笙(しょう)・ピアノなど楽器を使ったお取次ぎをさせていただきます。
天真寺にはお久しぶりのご登壇です。ぜひ一緒に楽しくお聴聞させていただきます♪

【場所】 天真寺本堂

★ オンラインで見られます → <http://www.koumyou.net/tenshin>どなたさまも自由にご参加いただけますので、ぜひお参りください。
茶話会の開催は状況を見て判断してまいります。オンライン参加
はこちらから

住職の独り言

■ 掲示板(3/15)

私を生かしておる 力(ちから)というものに
帰っていく歩み それが仏道

私たちのいのちは、不思議な因縁のはたらきの中に生まれ、年を重ね、病を得て、臨終を迎える。まさに「生老病死」こそが私の生きているあり様であります。されど、いつまでも若くいたい、健康でいたい、死にたくない…と道理に逆らい苦悩しているのが私のすがたです。そこには、今を活かされている喜びも感謝もないのです。

そんな私が阿弥陀如来の智慧に出会った時、「無始よりこのかた 迷いの世界を流転している」と知らされます。こんな愚かで自分勝手な私を救いの目当てとされたのが阿弥陀如来の本願であり、そのはたらきが「南無阿弥陀仏」です。苦悩する現実のなかで、大悲に安堵し、今を生きる歩みが仏道です。



■ 正念場(3/14)

ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)に日本中が湧いています。対オーストラリア戦が第1ラウンドの正念場と思っていましたが、あっさり勝ち

進み、次回は準々決勝で対イタリア戦です。さて、正念場とは…。歌舞伎などで主人公が役柄の神髄を見せる最も重要な場面から、ここぞという大切な場面、真価を問われる大事な場面を正念場というようになったそうです。本来は仏教語で、「正念」は仏道の実践行である「八正道」の一つであり、雑念を払った心の安定した状態、物事の現象にとらわれず常に真理を求める心を忘れないことをあらわします。浄土真宗では如来回向の信心を意味します。言葉は由来をたどると「なるほど」と頷けますね。優勝に向けて、これから迎える正念場も乗り切ってほしいものです。

■ 昔の『食事の言葉』(3/11)

「食前の言葉」我今幸いに、仏祖の加護と衆生の恩恵によりこのうるわしき食をうく。つつしみて食の来由を尋ねて味の濃淡を問わじ。つつしみて食の功德を念じて品の多少を選ばじ。戴きます。

「食後の言葉」我今このうるわしき食を終わりに、心豊かに力身につく。願わくばこの身心を捧げて、おのが業にいそしみ、誓って四恩に報い奉らん。御馳走様。

『領解文』も然り、昔の言葉には味わいを感じますね。味を問わじ、多少を選ばじ…とは、我身を反省させられます。



天真寺日曜礼拝の法話より

「こだまでしょうか」 副住職 西原龍哉

法友が出演するというので、流山で開かれた金子みすゞさんの音楽劇を観てきました。金子みすゞさんは本名金子テル、1903(明治36)年山口県長門市仙崎という漁港の町で誕生しました。お念仏を慶ぶ土徳豊かな地域で、祖母も熱心な念仏者だったため、みすゞさんも自然と仏さまに親しんでいました。しかし、結婚に失敗し、別れた夫が娘を迎えに来るという前日、26歳という若さで自死をします。みすゞさんの夫に宛てた遺書が残されています。「私はふうちゃん(娘)を心豊かな子に育てたいのです。あなたがあげられるのはお金であって心の糧ではありません。母が私を育ててくれたように、どうかふうちゃんを母に預けて育ててほしい」というものでした。夫からうつされた病に侵された身で、最後の願いは娘の幸せだけでした。

東日本大震災の後、TVコマーシャルでみすゞさんの詩が繰り返し流されていました。記憶にある方もいらっしゃるかもしれません。「こだまでしょうか」という詩です。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。
「ばか」というと「ばか」という。
「もう遊ばない」というと「遊ばない」という。
そうして、あとで、さみしくなって、
「ごめんね」というと「ごめんね」という。
こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

こだまだけではありません、すべての人の心は投げかけられた思いや言葉に反応するのだと伝えています。優しさには優しさが返ってくるのです。震災後に福島避難所を訪ねた時、妻の死に責任を感じ自分を責め続けていた男性が、この詩を聞いてホッとしたと話していたことが印象に残っています。みすゞさんの詩には、全てのものへの慈しみが溢れています。だから、読んだ人みんなの心を温めてくれるのでしょう。そこに、仏さまのお心を感じます。仏さまは「どんな時もあなたを決して見捨てない」とよびかけ続けてくださっています。そのよびかけに「南無阿弥陀仏」とお念仏申し、感謝の生活をさせていただくのです。本日は朝早くからようこそお参りくださいました。

「日曜礼拝」は毎週朝7時～つとめています！

『若き日の親鸞』

～京都南座 特別公演～



親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年の慶讃法要を記念して親鸞聖人のお芝居が上演されます。もし春の京都にお出かけされる方がいらしたら、どうぞご覧になってくださいね。門徒割引があります。

■ 日時 2023年4月10日(月)～29日(土)

■ 会場 京都四条・南座 五木寛之原作『若き日の親鸞』
親鸞役：藤山扇治郎 恵信尼役：はいだしょうこ

■ 門徒料金

S席 12,000円→7,000円 A席 6,000円→4,000円

■ 問合せ先 京都南座 075-561-1155

本願寺たすけあい募金

～ご協力くださる方はお願いします～

■ 募金名称

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金
「ウクライナ緊急支援募金」
「トルコ・シリア地震緊急支援募金」

○ 郵便振替 01000-4-69957

加入者名：たすけあい募金

○ 銀行振込

銀行：ゆうちょ銀行

店名：一〇九(イチゼロキュウ)店

番号：当座 0069957

名義：たすけあい募金

※ 通信欄に「ウクライナ」「トルコ・シリア」と寄付先をご記入ください。希望する領収書の宛名・住所・連絡先もご記入ください。

